

## 私たちの「大切」なみなさんへ

まず、生徒のみなさん全員が無事でいてくれて、感謝しています。君たちの存在や笑顔が、私たち大人の「今を生きる」糧になります。本当にありがとうございます。

さて、学校が再開し、1週間が経ちました。以前とは、異なった日常が、そこにあったかと思います。学校とは、さまざまな「型」を学ぶところです。みなさんは、「型」を身につけ、応用・改良し、自分の「型」を内に宿していきます。

ところが、自然が生み出した新型コロナウイルスは、たった半年間で、日常の中の、ありとあらゆる「型」を崩しました。みなさんが心待ちにしていた「運動会」や「県中学総体」は、崩れた「型」のひとつです。

これからの中学校生活を送るにあたり、私から先人の言葉「而今（にこん）」をお話します。

「今という瞬間」は二度と戻らない。「過去」や「未来」をあれこれ思い悩むのではなく、今を一生懸命に生きる。

みなさんは、思い悩み、迷う瞬間も多くあると思います。過去は変えることができません。未来も思い通りにはなりません。

しかし、今の自分の行動は変えることができます。今を一生懸命に生きる。

何に時間を投じますか？どんな選択をしますか？自分で決めましょう。そして、今という時間を大切にしましょう。

意識が変われば、行動が変わり、行動が変わると、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わり、人格が変わると、人生が変わる。今を一生懸命に生きましょう。

最後に、私たち保護者や斎藤校長先生をはじめ、ここにいる先生方は、崩れた「型」をWithコロナに適合できるよう直していきます。みんなと一緒に、今を生きましょう。

令和2年6月8日  
鹿沼市立東中学校 PTA会長  
大森 忠文